

炭でじんわり、薪でほっこり。

でも最近では、再生可能エネルギーの一員として活躍の場が増えているようです。森にとってもうれしいことです。使うことで元気が保たれるのですから、もうひとつうれしいのは、自給自足だからこそ森と暮らしをつないでいた役割に、もう一度みんなが振りむいてくれたことです。

今回の特集では、この炭と薪にスポットをあてています。題して「炭でじんわり、薪でほっこり。」



炭と薪——。難しくいうと木質バイオマス燃料。むかし昔は、暖房や煮炊きなど暮らしの熱源の主役でした。まさに自給自足。だってすぐ裏の山から調達できたんですから。薪炭林なんて言葉もありました。

時は移り、石炭・石油などの化石燃料を使い出した燃料革命により主役の座を奪われ、肩身のせまい思いをしています。



CONTENTS

- 3 特集 炭でじんわり、薪でほっこり。
しあわせが生まれる里で炭焼き体験
薪ストーブに魅せられて
- 8 企業だって森づくり♪
- 9 インタビュー「もりしあ人」
- 10 みんなでTRY (置賜・庄内)
でかけてみよう「山形市郷土館」(山形市)
- 11 プレゼントクイズ
- 12 やまがた緑環境税の使いみち

皆さんは、“森がある幸せ”を感じていますか？

山形には、豊かで美しい森があります。この豊かな森やそこに関わる人々、木がある暮らしetc.をお届けします。

山形の森を、“森がある幸せ”を、身近に感じていただけたら幸いです。

もりしあ編集部

「こんにちは「もりしあ」です。」

まだまだ寒いですね。

でも、もうすぐ春。

気がつけば、

やわらかな陽の光や雪解けの水の音が冬の終わりを告げています。まもなく、木々も芽吹きますよ。

いつしよに森へいきませんか？

幸生炭焼伝承